



世界トップクラスを目指す国際フォワード

2020年2月期 第2四半期 決算補足資料

2019年10月9日

株式会社エーアイティー

東証第一部
【証券コード 9381】

目 次

● 業績概要 (2020年2月期 第2四半期決算概要)

・ 2020年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要	頁
業績ハイライト	4
事業項目別比較ー営業収益・売上総利益	5
販売費及び一般管理費 増減詳細	6
・ セグメントの概要	7
・ 2020年2月期 第2四半期連結業績予想比較	8
・ 海上輸送コンテナ本数・通関受注件数推移	9

● 業績見通し (2020年2月期 通期見通し)

・ 2020年2月期 通期見通し	
連結業績	11
経営指標	12

業 績 概 要
(2020年2月期 第2四半期決算概要)



2020年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要-1



■ 業績ハイライト ～ 前年同期比較 ～

(単位:百万円)

	2019年2月期 第2四半期累計期間		2020年2月期 第2四半期累計期間		前年同期比増減	
	金額	営業収益 比率	金額	営業収益 比率	金額	前年同期比
営業収益	13,003	100.0%	22,451	100.0%	+9,448	+72.7%
売上総利益 (注)	2,043	15.7%	4,046	18.0%	+2,002	+98.0%
(販売費及び 一般管理費 (注))	1,330	(10.2%)	3,284	(14.6%)	(+1,953)	(+146.8%)
営業利益	713	5.5%	762	3.4%	+48	+6.8%
経常利益	771	5.9%	947	4.2%	+176	+22.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	527	4.1%	624	2.8%	+96	+18.3%

(注) 第1四半期連結会計期間より、従来、「販売費及び一般管理費」として表示していた国際貨物輸送、通関業務及び配送に係る部門費を「営業原価」として表示する方法に変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、2019年2月期 第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替を行っております。なお、2019年2月期第2四半期累計期間の「販売費及び一般管理費」から「営業原価」への組替額は、699百万円となります。

- 日新運輸の子会社化により、営業収益、売上総利益は大幅に増加。従来からの一貫輸送の提案型営業も積極的に展開。
- 国内外での輸送における仕入コストは上昇基調にあるが、販売価格への転嫁等にも取り組み、安定した利益の確保に努力。
- 一方でのれん償却額の発生やグループの人員増加、また、人事制度の再構築による人件費の上昇等で費用は増加。その反面、グループで可能な限りのコスト削減に取り組み、利益の創出に努めたことで、営業利益も増加。
- 持分法による投資利益等の計上により営業外収益が増加したことで、経常利益でも増益となった。



2020年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要-2



■ 事業項目別比較-営業収益・売上総利益【前年同期比較】

(単位:百万円)

【営業収益】		2019年2月 第2四半期累計期間		2020年2月期 第2四半期累計期間		増減額	増減 内訳額	増減内訳
		金額	構成比	金額	構成比			
単 体	海上輸送	7,052	54.2%	7,574	33.7%	521	△4	為替の影響(1USD 110.34円⇒110.21円)
							+262	販売価格の上昇
							+263	貨物量の増加(+3,815TEU)
	航空輸送	375	2.9%	296	1.3%	△79	△0	為替の影響
							+38	販売価格の上昇
							△117	貨物量の減少
通 関	2,496	19.2%	2,538	11.3%	41	+41	単体では、受注件数は減少(△1,360件)も 配送費等の単価上昇	
その他	711	5.5%	774	3.5%	62	+62	3PLなどの受注の増加	
子会社(注)	2,366	18.2%	11,268	50.2%	8,901	+310	従来の当社子会社での収益増加	
							+8,591	日新運輸及び同社子会社分
合 計	13,003	100.0%	22,451	100.0%	9,448			

(単位:百万円)

【売上総利益】		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減 内訳額	増減内訳
単 体	海上輸送	1,118	40.8%	1,221	25.4%	102	△1	為替の影響
							+262	販売価格の上昇要因
							△201	仕入価格の上昇要因
							+42	貨物量の増加
航空輸送	76	2.8%	67	1.4%	△8	△0	為替の影響	
							+38	販売価格の上昇要因
							△22	仕入価格の上昇要因
							△24	貨物量の減少
通 関	669	24.4%	668	13.9%	△0	△0	受注件数の減少、仕入配送費等の上昇	
その他	63	2.3%	73	1.5%	9	+9	受注の増加	
子会社(注)	815	29.7%	2,783	57.8%	1,968	+48	従来の当社子会社での利益増加	
							+1,920	日新運輸及び同社子会社分
小 計	2,743	100.0%	4,814	100.0	2,071			
販売管理費⇒原価へ振替	△699		△768		△69			
合 計	2,043		4,046		2,002			

(注) 子会社にてセグメント情報における日本の「セグメント間の内部営業収益又は振替高」を減算しております。



2020年2月期 第2四半期連結決算(業績)概要-3



■ 販売費及び一般管理費 増減詳細 (前年同期比較)

(単位:百万円)

	2019年2月期 第2四半期累計期間		2020年2月期 第2四半期累計期間		増減額
	金額	営業収益比率	金額	営業収益比率	
営業収益	13,003	100.0%	22,451	100.0%	前年同期比 2.3pt上昇 +9,448
売上総利益(注)	2,043	15.7%	4,046	18.0%	+2,002
販売費及び一般管理費合計(注)	1,330	10.2%	3,284	14.6%	前年同期比 4.4pt上昇 +1,953
(内 人件費)(注)	963	7.4%	2,042	9.1%	+1,079
(内 販売費)(注)	88	0.7%	232	1.0%	+144
(内 固定費)(注)	278	2.1%	1,008	4.5%	前年同期比 2.1pt低下 +730
営業利益	713	5.5%	762	3.4%	+48

(注) 第1四半期連結会計期間より、従来、「販売費及び一般管理費」として表示していた国際貨物輸送、通関業務及び配送に係る部門費を「営業原価」として表示する方法に変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、2019年2月期第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の組替を行っております。

なお、2019年2月期第2四半期累計期間の「販売費及び一般管理費」から「営業原価」への組替額は、699百万円(人件費616百万円、販売費26百万円、固定費57百万円)となります。

- 日新運輸を子会社化したことにより、販売費及び一般管理費は大きく増加。
- 人員数はグループ全体で1,290名(内 臨時従業員は491名)増加。(営業原価として計上している人員数も含む)
- 当第2四半期連結期間において、固定費にのれん償却額172百万円(注)を計上。

(注) のれんの金額は当第2四半期連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

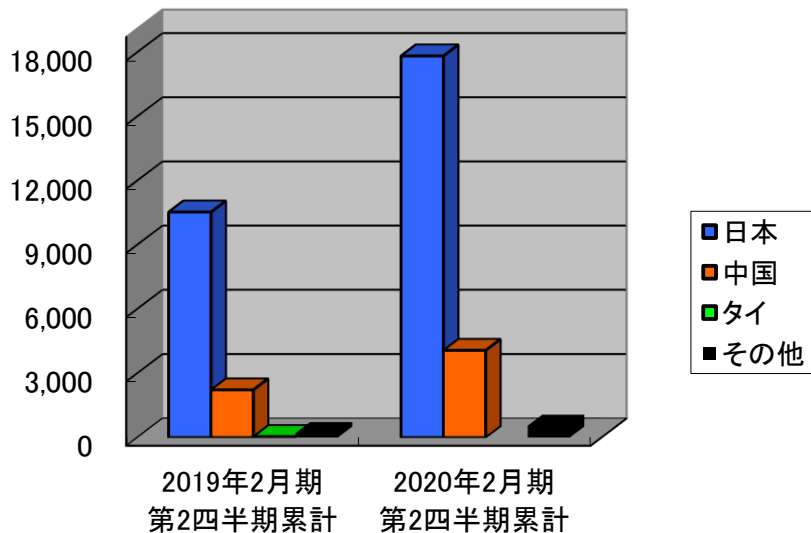


セグメントの概要



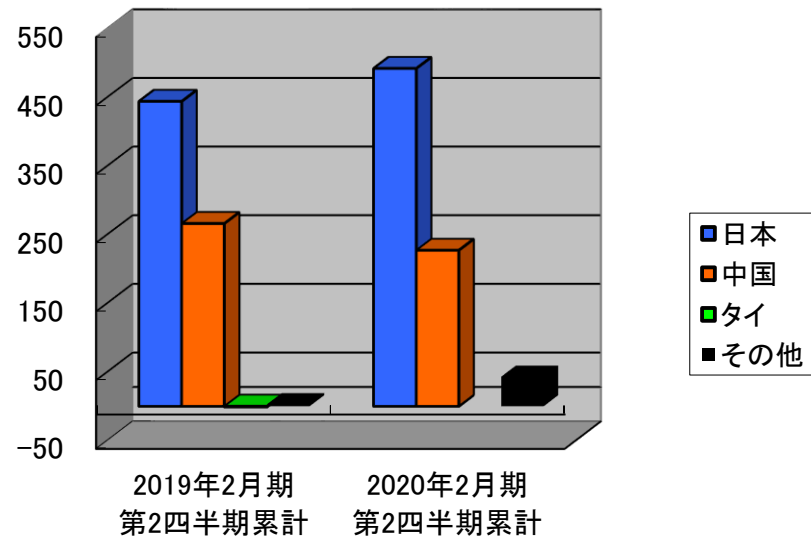
(営業収益)

(単位:百万円)



(営業利益)

(単位:百万円)



(単位:百万円)

(単位:百万円)

	2019年2月期 第2四半期累計	2020年2月期 第2四半期累計	増減
(注1)	金額	金額	金額
日本	10,528	17,829	+7,301
中国 (注3)	2,225	4,067	+1,842
タイ	42	-	△42
その他 (注4)	207	554	+346
合計	13,003	22,451	+9,448

	2019年2月期 第2四半期累計	2020年2月期 第2四半期累計	増減
(注1)	金額	金額	金額
日本	444	492	+47
中国 (注3)	266	227	△39
タイ	△1	-	+1
その他 (注4)	3	43	+39
合計	713	762	+48

(注)1. 当期より日新運輸及び同社の子会社の業績が各セグメントに含まれていません

2. 「日本」、「中国」の2つを報告セグメントとしております。なお、「タイ」については、子会社の清算により、当期より廃止しています。

3. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人となります。

4. 「その他」の区分は、米国、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人となります。



2020年2月期 第2四半期連結業績予想比較



■ 営業収益(売上高)及び損益関係 ～ 予想比較 ～

(単位:百万円)

	2020年2月期 第2四半期累計				予想比 増減	
	期初予想値(注) (2019年4月10日公表値)		実績			
	金額	営業収益比率	金額	営業収益比率	金額	予想比
営業収益	23,400	100.0%	22,451	100.0%	△948	△4.1%
売上総利益	4,153	17.7%	4,046	18.0%	△106	△2.6%
(販売費及び一般管理費)	3,563	(15.2%)	(3,284)	(14.6%)	(△278)	(△7.8%)
営業利益	590	2.5%	762	3.4%	+172	+29.2%
経常利益	730	3.1%	947	4.2%	+217	+29.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	440	1.9%	624	2.8%	+184	+41.8%

(注) 2019年10月1日付で、「2020年2月期 第2四半期連結累計期間の業績予想の修正」を公表しておりますが、上記の期初予想値(営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益)は、2019年4月10日に公表しました予想値を記載しております。

【主な増加・減少要因】

営業収益

期初想定よりも、△948百万円となった要因：
〈以下①～⑤は単体ベース〉

- ①輸送貨物量の未達 **△793百万円**
【海上△683百万円、航空△110百万円】
【海上貨物予想 120,000TEU → 109,900TEU 約△10,100TEU】
- ②通関関連 **△238百万円**
【通関件数予想 46,000件 → 41,771件 約△4,200件】
- ③為替要因 **+75百万円**
【1米ドル予想為替 108.00円 → 実績110.21円 +2.21円】
- ④価格要因【販売価格】 **+138百万円**
【海上+109百万円、航空+28百万円】
- ⑤その他要因(3PL事業等) **△70百万円**
- ⑥子会社要因で **△59百万円** **合計△948百万円**

売上総利益

期初想定よりも、△106百万円となった要因：
〈以下①～⑥は単体ベース〉

- ①輸送貨物量の未達 **△126百万円**
【海上輸送△103百万円、航空△23百万円】
- ②通関関連 **△31百万円**
- ③為替要因 **+12百万円**
- ④価格要因【販売価格と仕入価格の関係】
+114百万円【海上+101百万円、航空+13百万円】
- ⑤その他 **△2百万円**
- ⑥国際貨物輸送、通関業務及び配送に係る部門費 **+19百万円**
- ⑦子会社要因 **△91百万円** **合計△106百万円**

販売費及び一般管理費

期初想定よりも、△278百万円になった主な要因：
人件費 **△152百万円**、販売費 **△23百万円**、固定費 **△102百万円**



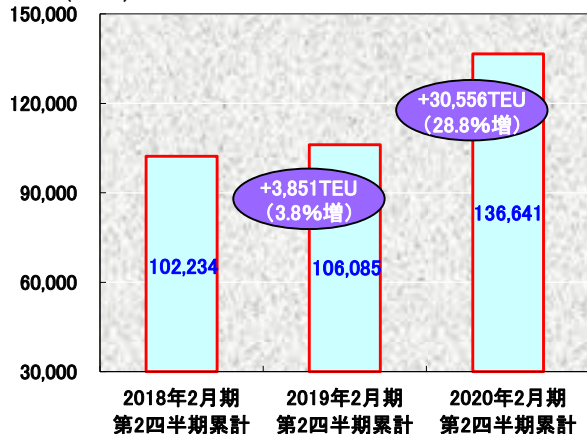
海上輸送コンテナ本数・通関受注件数推移



取扱い海上輸送コンテナ本数推移

(TEU)

(単位:本数=TEU)

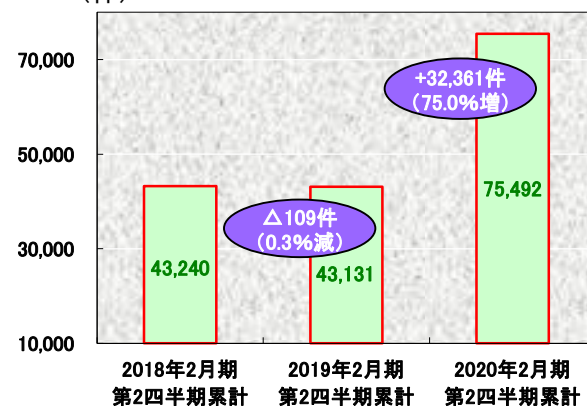


	2018年2月期 第2四半期累計 (当社)			2019年2月期 第2四半期累計 (当社)			2020年2月期 第2四半期累計 (当社+日新運輸と同社子会社分)		
	本数	増減数	増減比	本数	増減数	増減比	本数	増減数	増減比
輸入	97,991	+14,171	+16.9%	99,856	+1,865	+1.9%	128,088	+28,232	+28.3%
輸出	4,243	+587	+16.1%	6,229	+1,986	+46.8%	8,553	+2,324	+37.3%
合計	102,234	+14,758	+16.9%	106,085	+3,851	+3.8%	136,641	+30,556	+28.8%

通関受注件数推移

(件)

(単位:件)



	2018年2月期 第2四半期累計 (当社)			2019年2月期 第2四半期累計 (当社)			2020年2月期 第2四半期累計 (当社+日新運輸)		
	件数	増減数	増減比	件数	増減数	増減比	件数	増減数	増減比
輸入	39,976	+7,652	+23.7%	39,357	△619	△1.5%	62,173	+22,816	+58.0%
輸出	3,264	+1,044	+47.0%	3,774	+510	+15.6%	13,319	+9,545	+252.9%
合計	43,240	+8,696	+25.2%	43,131	△109	△0.3%	75,492	+32,361	+75.0%

業績見通し
(2020年2月期 通期見通し)



■ 連結業績

(単位:百万円)

		2019年2月期 (実績)	営業収益比	2020年2月期 (実績・予想)	営業収益比	増減金額	前年同期比
上期	営業収益	13,003	100.0%	22,451	100.0%	+9,448	+72.7%
	営業利益	713	5.5%	762	3.4%	+48	+6.8%
	経常利益	771	5.9%	947	4.2%	+176	+22.9%
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	527	4.1%	624	2.8%	+96	+18.3%
通期	営業収益	27,783	100.0%	50,000	100.0%	+22,216	+80.0%
	営業利益	1,543	5.6%	1,650	3.3%	+106	+6.9%
	経常利益	1,703	6.1%	1,960	3.9%	+256	+15.0%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	1,167	4.2%	1,250	2.5%	+82	+7.1%

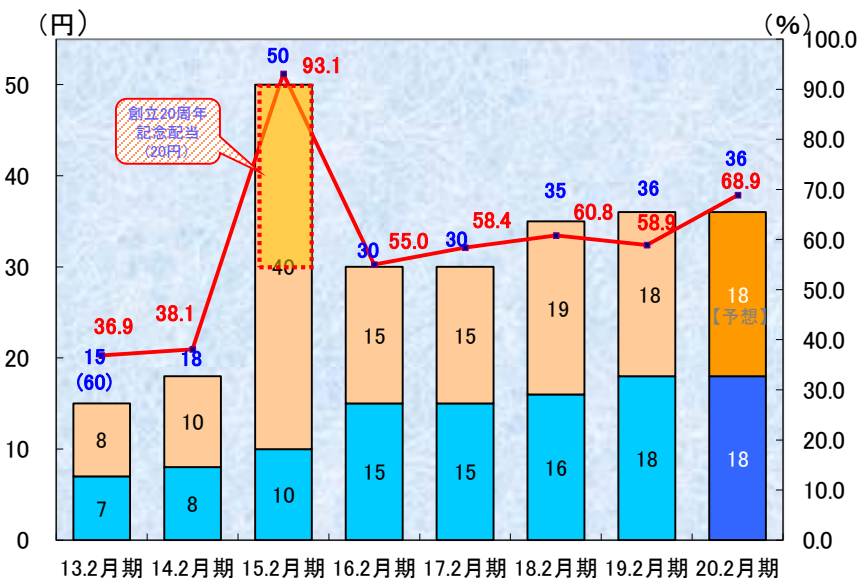
予
想



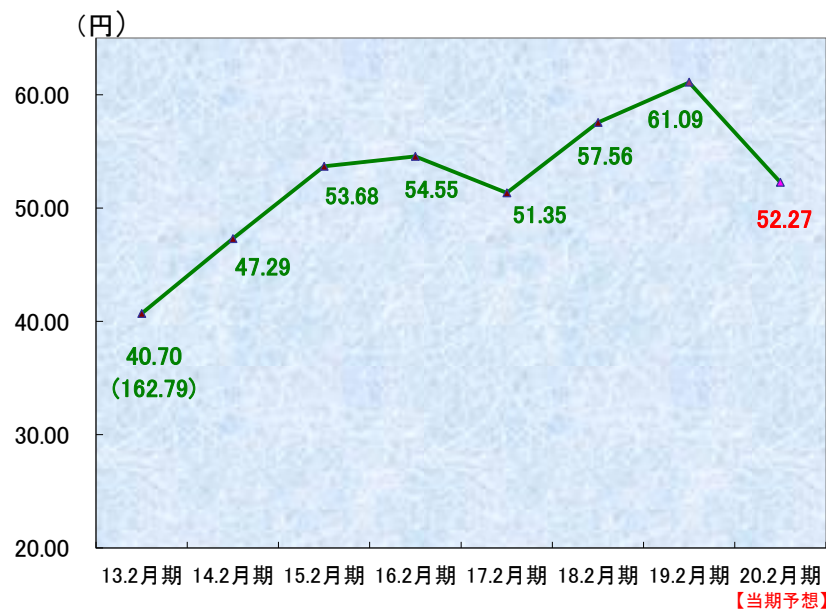
2020年2月期 通期見通し—経営指標



■ 1株当たり年間配当金、及び連結ベース配当性向 (注1)



■ 連結ベース 1株当たり当期純利益 (注2)



■ 中間配当(左目盛) ■ 期末配当(左目盛) ● 連結ベース配当性向(右目盛)

- (注) 1. 2013年3月1日付、2013年11月1日付にてそれぞれ1株につき2株の割合をもって株式分割をおこなっています。よって、2013年2月期の1株当たりの配当金は、それぞれの株式分割を過年度に遡及して表示しており、株式分割前の年間実配当額は、()に明記しております。
2. 2013年2月期の1株当たり当期純利益においても、(注)1の株式分割を過年度に遡及して表示しており、株式分割前の実額は、()に明記しております。

発行済株式数 : 2019年2月28日時点 19,754,400株 (内 所有する自己株式 640,833株)
 2019年3月1日時点 23,913,600株 (内 所有する自己株式 33株)

【2020年2月期】

- 中間配当……期初の予想通り、1株当たり18円で実施。
- 期末配当予想……1株当たり18円の予想。
(年間配当予想:1株当たり36円)



【お問合せ先】 経理財務部 財務課

TEL:06-6260-3486 FAX:06-6260-3460

執行役員 経理財務部長	内田 利明
経理財務部 財務課長	中川 善郎

――本資料取扱い上の注意――

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確実性の要素を含んでおります。従いまして、通常予測し得ないような特別事情の発生や通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

よって投資家の皆様につきましては、本資料の将来見通しのみに依拠することなく、投資に関するご決定は皆様自身のご判断で行っていただきますようお願いいたします。

なお、本資料で使用するデータ及び表現の欠落・誤謬等に関しましてもその責を負いかねますのでご了承ください。

また、本資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更することもありますので、ご了承ください。